

## 4・5歳児 英語活動（交流保育）指導案

平成22年1月22日（金）10:15～10:45 矢掛幼稚園

幼稚園 5歳児 男児 8名 女児 7名 4歳児 男児 4名 女児 2名 計21名

保育園 5歳児 男児 24名 女児 14名 計38名 合計59名

指導者 HRT 佐藤 敬子 (T1) 福尾 佳代 (T2)

野宮 知恵・渋江 典子 (T3)

CIR サマンサ・オハラ

### 1 トピック 「気持ち」や「動き」の言葉で遊ぼう

### 2 ねらいと内容

- ◎ 「気持ち」や「動き」の言葉を知り、歌やチャンツ、ゲームで英語のリズムや発音を聞いて動いたり、言ったりすることを楽しむ。
- ◎ 幼稚園や保育園の友達と触れ合って、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 「気持ち」や「動き」の言葉を聞いたり、言ったり、動いたりしてチャンツやゲームを楽しむ。
- 先生や友達、保育園の人と触れ合って遊び、人とのかかわりを楽しむ。
- 英語の歌や絵本に親しむ。
- 話や説明を静かに聞く。
- ゲームのルールが分かり、守る。



### 3 言語材料 happy good hungry sleepy sad walk run jump swim fly

### 4 活動計画

	主な活動計画と言語材料	準備物
	♪うた ◎ 絵本 *手遊び・リズム遊び ●ゲーム	
第1時 (保育園で)	「気持ち」の言い方を知ろう ♪Hello Song ♪ABC Song ●Feeling Card Touch Game 絵カード <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">happy good hungry sleepy sad</span> *The Hokey-Pokey *If You Are Happy song ◎What's your favorite foods? ♪Good-bye Song	ネームカード 絵カード CD・MD 絵本
第2時 [本時] (幼稚園で)	「気持ち」や「動き」の言葉で遊ぼう ♪Hello Song ♪ABC Song ●Feeling Groups Game 絵カード <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">happy good hungry sleepy sad walk run jump swim fly</span> *If You Are Happy Song ◎トーマス ♪Good-bye Song	ネームカード 絵カード CD・MD 絵本 はちまき コーン

## 5 指導の構想

### (1) 幼児の姿と教師の願い

- ・ 4月より、幼稚園児（5歳児・4歳児）と保育園児（5歳児）が一緒に交流英語活動をしている。1学期は、C I Rの話聞く時やゲームをする時など、幼稚園児と保育園児が別々にかたまり、交わることが少なかった。そこで、職員間で話し合いをし、幼稚園児と保育園児と一緒に遊ぶ楽しさを味わってほしいと願い、2学期より5名程度のグループでの英語活動を進めるようにした。次第に、同じグループの友達の名前を呼ぶなどお互いに親しみをもってきているので、引き続きグループによる活動を取り入れ、さらにいろいろな人とかかわる楽しさを味わってほしいと考えている。
- ・ 9月から新しいC I Rになり、登園時やレッスン前に幼児が一人一人C I Rに英語であいさつをし、自分の名前を言う活動を取り入れている。ほとんどの幼児はC I Rに慣れ、恥ずかしがらないでかかわるようになってきた。また、明るく楽しいC I Rに親しみをもってきている。引き続き、幼児が無理なく自然にC I Rと簡単な会話や自分なりにかかわる体験をすることで、一層C I Rや英語に親しみを持ち、より楽しくレッスンができると考えている。
- ・ ほとんどの幼児が英語のレッスンを楽しみにし、積極的に活動できるが、恥ずかしがって小さい声で発音する幼児やにこにここと聞いているだけの幼児もいる。チャンツは、喜んで参加している幼児が多く、少しずつリズムカルになってきている。ゲームや手遊びにも興味をもって取り組んでいるので、活動を工夫し、英語のリズムや発音を聞いて動いたり、言ったりすることをさらに楽しんでほしいと考えている。
- ・ 多人数で活動しているためか、活動の合間に知っている友達と話をしたり、じゃれたりする幼児がいる。そのため、C I Rの発音が聞きにくかったり、説明が理解できなかつたりすることがある。話を静かに聞くことができるようになってほしいと思っている。

### (2) トピックについて

- ・ 本トピックの「気持ち」や「動き」の言葉で遊ぼうは「気持ち」と「動き」を組み合わせ、言い方だけでなく特徴的な動作を身体表現として取り入れて遊ぶことで、より楽しく英語に親しむことができると思われる。また、正月遊びの活動でカルタ取りやゲームに興味をもっている。英語活動でもゲーム性があり、しっかりと身体を動かすことができる活動を取り上げることでより効果的に取り組めると考えた。
- ・ 本時では、友達意識を広め、無理なく「気持ち」や「動き」を英語で言えるように、“Feeling Groups Game”という活動計画を立てた。

### (3) 研究主題との関連

- ・ 交流英語活動を通して、C I Rの先生とかかわったり英語のリズムや発音に触れたりすることによって、いろいろな国や言葉があることを知り、興味をもたせたいと考えている。そして、保育園の子どもたちとかかわることで、いろいろな友達の存在に気づき、一緒に活動し、仲良くしようとするのは国際理解教育の基になるものと思われる。また、楽しく英語活動に取り組むことで「英語って楽しい!」「褒められて、うれしい!」等自己充実感を味わうことが研究主題である「心豊かにいきいきと遊ぶ幼児をめざして」にも迫ることができると思う。